

## 第3回総合戦略審議会 主な意見・質問

参考

※ページ数については、10月26日配布資料4-1に基づくもの

No	ビジョン 総合戦略	意見 質問	意見・質問要旨	回答内容
1	総合戦略	意見	東京オリンピック・パラリンピックで使う食材については、世界標準に合ってるものが必要だが、国産だと世界標準に合っていない。食材に国産が使えない。川越で先駆けて（世界標準に合う食材が）できないか。川越を売り出す武器になると思う。	オリンピックの食材については、日本独自の認証による調達を認めるよう、国がオリンピック組織委員への提案を検討している。今後の動向が不透明なため、現段階では動向を見守ることとしたい。
2	総合戦略	意見	戦略1『川越でしごとをする』という内容において、P.13は野菜の写真となっている。若い人が働きたい、働く場のようなイメージの写真にできないか。	若者の就労をイメージする写真へと変更した（P.13）。
3	総合戦略	意見	埼玉県は年間〇社という企業誘致の目標を掲げているが、ある程度の規模の企業を誘致することも大事ではないか。	ある程度の規模を持つ企業誘致は恒常的に取り組んでいく必要があると考えている。総合戦略には記載していないが、市の施策として実施していきたい。
4	総合戦略	意見	P.20-21やP.26のアンケート結果にある、「安定した仕事に就いている」や「川越に愛着がある」などの若者の気持ちや考えが大事なので、そこに早めに取り組んでもらいたい。	若者の地元就業につなげる新たなプロジェクトとして「しごと暮らし川越」を追加し、具体的施策として若者の地元就業支援を盛り込んだ。（P.18-19）
5	総合戦略	意見	スポーツやダンスなど地域で一体となることができるものがないのでは。	総合戦略では「若者が住み続けたいまち」を目指すため、しごと支援などを戦略のひとつに位置づけている。スポーツなどによる地域の魅力づくりも「若者が住み続けたいまち」の実現には重要と考えており、今後の市の施策を検討する際の参考にさせていただきたい。

## 第3回総合戦略審議会 主な意見・質問

※ページ数については、10月26日配布資料4-1に基づくもの

No	ビジョン 総合戦略	意見 質問	意見・質問要旨	回答内容
6	総合戦略	意見	総合運動公園は県で川越しかないが、全部2級品である。野球場などがあれば雇用につながると思う。	野球場については今は具体的な整備の計画がないことから、総合戦略に位置付けることは困難である。
7	総合戦略	意見	P. 21の数値目標について、「子育て世帯の転入数」はいいと思うが、出産前の関係の指標ではないのでは。プロジェクトの『縁結び川越』は子育て世帯の転入数に寄与しないのではないか。結婚前に係る数値目標が入った方がよいのではないか。	P. 21の数値目標は、個々のプロジェクトで取り組んだ結果となる「川越で育てる」という戦略自体の達成状況を計るものである。
8	総合戦略	意見	P. 22の『縁結び川越』について、民間がやっている取組を行政がつかないでいければよい。	官民連携のもと、お互いの強みを活かして進めていきたい。
9	総合戦略	意見	プロジェクト『すくすくかわごえ』には、子どもが楽しく遊んでいる写真やイラストなどを入れてほしい。	子育ての写真を入れることとした。(P. 25)
10	総合戦略	意見	川越市は出産までのケアは良いが、生まれた後の母親へのケアが手厚くない。 2人目、3人目も産みたいということにつながらない。	産後の母親へのケアを含め、『すくすくかわごえ』の関連施策である『産前・産後サポート事業』等を具体化する中で検討していきたい。 ※母親の負担を軽減するため、第3子や多胎児のヘルパー派遣を実施している（前回審議会における回答）。

## 第3回総合戦略審議会 主な意見・質問

※ページ数については、10月26日配布資料4-1に基づくもの

No	ビジョン 総合戦略	意見 質問	意見・質問要旨	回答内容
11	総合戦略	意見	多くの母親の多様なニーズに応えるためコンシェルジュを置くのはどうか。母子手帳を配布するところから母親に接することができる。	『すくすくかわごえ』の関連施策である『産前・産後サポート事業』等を具体化する中で検討していきたい。
12	総合戦略	意見	コンシェルジュは、保育コンシェルジュ+αの機能だったり、保健推進員などがやっていた活動だったりするので、過去にあった組織のいいところをピックアップしていければよい。	コンシェルジュ制度の実施を含め、今後『すくすくかわごえ』の関連施策である『産前・産後サポート事業』等を具体化する中で検討していきたい。
13	総合戦略	意見	蔵まちづくり再生基金は平成30年度で積み立てて、31年度から運用となっている。 スケジュール的に無理がないか。	厳しいスケジュールかもしれないが、この計画で進めていく考えでいる。
14	総合戦略	意見	蔵まちづくり再生基金について、総合計画との関係はどうなっているのか。	総合計画では、「景観まちづくり」を施策として推進していくこととしており、その仕組みのひとつとして蔵まちづくり再生基金を活用していくことを考えている。
15	総合戦略	意見	蔵まちづくり再生基金とまちづくり会社との棲み分けや制度設計はどうなのか。	蔵まちづくり再生基金の役割は、歴史的建造物等を改修して再生するためのものであり、厳しい財政状況の中で市の負担を軽減する枠組みとして考えたものである。市が条例設置する基金とは異なり、官民共同出資による基金として考えている。なお、基金の管理運用団体については、制度を設計していく中で検討していきたい。

### 第3回総合戦略審議会 主な意見・質問

※ページ数については、10月26日配布資料4-1に基づくもの

No	ビジョン 総合戦略	意見 質問	意見・質問要旨	回答内容
16	総合戦略	意見	プロジェクトの『蔵inガルテン川越』について、農業ふれあいセンターだけでなく、そこから広がりが見えるようなものになればよいのではないか。 また、行政の中で市民農園について方針をもって整備してほしい。	プロジェクトとして、まずは農業ふれあいセンターを拠点として整備し、周辺施設との連携によって面的な広がりを図ることを考えている。 市民農園については、市の施策を進める中で整理していきたい。
17	総合戦略	意見	プロジェクトの『蔵inガルテン川越』について、農業ふれあいセンターだけでなく川越市の東西南北に家庭菜園ができる場所があればよい。	プロジェクトでは、まずは交流人口を呼び込むスポットとして農業ふれあいセンターを整備することとしている。 家庭菜園については市の施策を進める中で整理していきたい。

### 第3回総合戦略審議会 主な意見・質問（会議の中で回答した内容）

※ページ数については、10月26日配布資料4-1に基づくもの

No	ビジョン 総合戦略	意見 質問	意見・質問要旨	回答内容
1	人口 ビジョン	質問	P.37の人口シミュレーションの記載で、2040年の合計特殊出生率が仮定地で2.07となっている。この根拠は何か。仮定においた出生率を達成するには相当な努力が必要であるので、施策をがんばっていただきたい。	国の長期ビジョンで設定された出生率を採用しており、人口置換水準である2.07に到達することを前提としたシミュレーションとしている。
2	総合戦略	質問	P.11に「KPIを設定し、目標達成状況を把握」との記載があるが、5年後だけでなく、途中も確認するのか。	KPIは平成31年度でどこまで達成できたかを把握するため、平成31年度を記載している。KPIの中には毎年取れる数字と取れない数字がある。P.4のようにPDCAサイクルに基づき、毎年度進行管理をしていく中で確認していきたい。
3	総合戦略	質問	前回素案にあったソフト事業はどうなったか。	今回の原案では平成31年度までの5年間で実効性の高いものをプロジェクトとして記載した。前回素案にあったソフト事業は必要に応じて対応していきたい。
4	総合戦略	意見	アンケート結果では働く場が重要とあるが、プロジェクトの『健康食レストラン川越』は仕事をつくることにつながるのか。	健康食レストランについては農業の6次産業化につながることをイメージしている。そのような部分で雇用につながるかと考える。
5	総合戦略	質問	アンケート結果では6割が川越で働きたいと答えているが、就業実態としてはどうなのか。	大学の立場から話すが、「川越市」という地域で仕事を選ぶというのは少ないと思う（審議会委員）。

### 第3回総合戦略審議会 主な意見・質問（会議の中で回答した内容）

※ページ数については、10月26日配布資料4-1に基づくもの

No	ビジョン 総合戦略	意見 質問	意見・質問要旨	回答内容
6	総合戦略	意見	産官学連携が必要。商店街を活かすために若者の力を使えないか。	すでに実施している（審議会委員）。
7	総合戦略	質問	待機児童数はどのくらいなのか。川越市は多いのか。	平成27年4月1日時点で74名。7月1日時点で92名。さいたま市が多い。国は平成29年度末に待機児童ゼロを掲げており、川越市も認定こども園の設置等で減らしていきたい。
8	総合戦略	質問	プロジェクトの『すくすくかわごえ』について、建設場所は決まっているのか。	未定である。駅に近い場所を選定し、作っていければと考えている。
9	総合戦略	意見	プロジェクトの『すくすくかわごえ』について、母親が集まるラウンジのようなものがあればよい。 また、関連施策の『地域における保育環境等の充実』で「人形劇等の観劇会」という記載があるが、人形劇に限定しない方がよい。	母親が集まるラウンジについては、『すくすくかわごえ』を具体化する中で検討していきたい。 なお、地方創生の先行型事業として実施した内容は総合戦略に記載することとなり、人形劇の記載は先行型事業の実施によるものである。
10	総合戦略	質問	この戦略と新型交付金の交付内容は合致してくるのか。 日本版DMOIについては『キテミルKAWAGOE』に記載があるが、日本版CCRCの考え方は原案にあるのか。	新型交付金の内容についてはまだ国から示されていないが、現時点で日本版DMOと日本版CCRCは新型交付金における先駆性の取組みであると位置付けられている。 DMOIは、地域資源を組み合わせた観光地域づくりの推進主体と理解しており『キテミルKAWAGOE』プロジェクトでは、DMOになり得る団体創設を考えている。 CCRCについては、高齢者を東京圏以外へ移住してもらう取組と捉えており、本戦略では位置付けていない。